



REAR CAMERA HARNESS RCH078U

リアカメラ入力ハーネス 取付/取扱説明書



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

本製品は、車両のハーネスを活用して、弊社製リアカメラ[RVC801]の取り付けを簡単にする製品です。



注意

本製品は弊社製リアカメラ[RVC801]専用です。他のカメラは使用できません。
※リアカメラは別途ご用意ください。

内容物

リアカメラハーネス本体	1 セット
ギボシ端子・スリーブ(オス)	1 セット
ギボシ端子・スリーブ(メス)	1 セット
RCA ピン変換コネクタ	1 個

ご相談窓口

お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

注意事項(必ずお読みください)

注意事項の定義

ご使用になる前に、この「注意事項」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

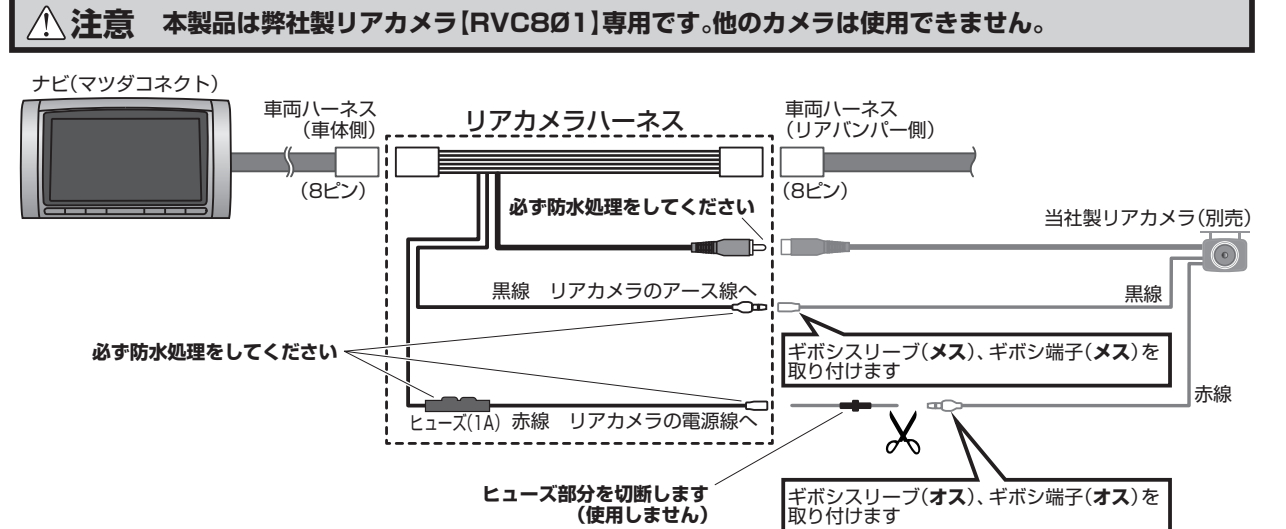
危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
警告	守らないと、法律に違反するおそれがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと



注意

- 本製品は、弊社製リアカメラ[RVC801]専用です。他のカメラは使用できません。リアカメラは別途ご用意ください。
- カメラ本体は、必要に応じて加工して装着してください。
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計等のメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターおよびチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外してください。本製品を含み、アフターパーツ類を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内のカセット、音楽ディスク、地図ディスクなど、すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張ると、車両側の基板が破損する恐れがあります。
- 絶対に配線部分を引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 端子を接続するときは、奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要です。販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関しての責任は弊社では一切負いません、あらかじめご了承ください。

接続概要図



取付方法

リアカメラの取り付けは、各カメラ取扱説明書を参照し、必要に応じて加工して装着してください。
※リアカメラの電源とアースは本製品から取得できます。
※リアカメラは「鏡像」でご使用ください。

1. バッテリーのマイナス端子を取り外します。



必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
バッテリーのマイナス端子を外さずに本製品を取り付けると、リアカメラの映像がモニターに映りません。

2. リアバンパー左側、バンパー裏にある灰色8ピンコネクタを取り外します。

灰色 8 ピンコネクタ
(バンパー裏側)

3. 外したコネクタの間に本製品を割り込ませます。

4. 本製品のビデオ端子・赤線・黒線は、それぞれリアカメラと接続します。 ビデオ端子は映像出力端子に、赤線は電源線に、黒線はアース線に接続します。



ヒューズ・各端子は、必ずテーピングなどで防水処理を施してください。
不完全な防水処理は、車両や製品が故障する原因となります。

5. バッテリーマイナス端子を接続します。

6. 動作を確認します。

1. イグニッションスイッチをONにします(エンジンは始動させません)。
2. シフトレバーを「R(リバース)」にします。
3. モニターにカメラ映像が映ることを確認します。

7. 配線類をまとめ、作業完了です。 ヒューズケースや電源接続部、ビデオ端子接続部に直接水がかからない位置で配線類をまとめてください。



Data System 株式会社 データシステム

<http://www.datasystem.co.jp/>

■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。